



◆こどもセンター紹介

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

春光うらかな季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月の巻頭言はこどもセンターが担当させていただきます。

こどもセンターは、小児内科・小児外科・新生児内科の3部門、約15名の医師が診療しております。3部門といってもそれぞれの垣根はなく、小児を包括して診療しております。わたしたちは、病院の理念に沿って、1人ひとりのお子さんをご家族に寄り添って、安心してお子さんを預けてもらえるこどもセンターを目指しております。また、地域でお子さんたちの成長を見守ってくださっている小児科クリニックの先生方と連携し、必要に応じてご紹介いただいております。

大学病院の特殊性として以下のような専門外来がありますので、気になることがありましたらご相談ください（円滑に診療を進めるためにも、かかりつけの先生から紹介状をお願いいたします）。

- 食物アレルギー外来：鶏卵、乳製品など食べると症状がでるのではないかと心配されることも少なくありません。当院では、すぐに対応できるよう病院で実際に食べて症状がどうかをみる経口食物負荷試験を行っています。
- 腎臓外来：血尿や蛋白尿など尿検査の異常ならびに学校検診などで尿検査の異常を指摘されたお子さんの診療を行っています。
- 内分泌外来：低身長や思春期早発、肥満などホルモンや代謝の異常にかかわるお子さんを診療しています。
- 精神神経外来：痙攣性疾患から発達障害など当院の専門医が担当しています。

新生児部門（NICU）の特色：地域の産婦人科の先生方と連携して、早産の危険性が高いお母さんや胎児に病気がある場合は産婦人科にご紹介いただいております。NICUでは1000g未満で出生した赤ちゃんから生まれつき病気がある赤ちゃんまで診療しております。NICUは半個室にしてプライバシーを重視するとともに、24時間いつでも入院中の赤ちゃんに会うことができます。当院のNICUは、救命や治療だけではなく、赤ちゃんの生活の場として、新たなご家族の始まりをサポートさせていただきたいと思っています。



昭和大学江東豊洲病院

第48号のピックアップ

- こどもセンター紹介
- 防災訓練について
- NST活動について
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

◆防災訓練について

2018年3月2日(金)、2017年度第2回昭和大学江東豊洲病院防災訓練が実施されました。

今回の訓練では、東京消防庁深川消防署および深川消防団、災害時支援ボランティア、江東区立豊洲西小学校の協力のもと、体験型自衛消防訓練、6階A病棟自衛消防訓練、エアートント設営訓練を行いました。

体験型自衛消防訓練では、深川消防署指導のもと、豊洲西小学校3年生および病院職員が煙ハウス・起震車・水消火器体験を行いました。煙ハウス体験では、火災により煙が充満した建物を模したテントを通過するなかで、煙が充満した状況下での避難が困難であることを再認識しました。起震車体験では、震度6弱の揺れを体験し、大きな揺れの危険性と、そのなかで身の安全を確保することの重要性を実感しました。水消火器体験では、初期消火において重要な役割を果たす消火器使用の手順を学ぶことができました。参加した小学生の皆さんにとって日々の防火・防災への意識を見直すきっかけとなったのではないのでしょうか。



6階A病棟自衛消防訓練では、火災が発生したことを想定し、医師・看護師・警備員・設備員が協力して初期消火及び避難誘導にあたりました。その際、深川消防署の協力のもと、はしご車を使った避難を行い、患者役は地上約30mの6階屋上緑地まで伸びたはしご車で院外へ救助されました。訓練の最後には、病院長の号令のもと、深川消防署および深川消防団、災害時支援ボランティアによる一斉放水が行われました。

エアートント設営訓練では、病院職員および委託職員を合わせ約60名の防災担当者が参加し、災害時の患者受入体制の立ち上げの初期行動であるエアートントの設営方法習得に努めました。職種や役職を超え、担当者同士が協力してエアートント設営にあたる様子は、当院の根底にある「チーム医療」の精神を体現したものでした。



今回の訓練では災害時における地域の各機関との協力体制を再確認することができました。東京都災害拠点病院である当院は、今回の防災訓練をはじめとする様々な災害対策を通して、地域の災害医療の拠点としての体制をより強固なものにしてまいります。今後も地域の各機関との連携を強化し、皆さんに信頼される存在となれますよう努めてまいります。



◆NST 活動について

NST（栄養サポートチーム）は栄養管理が必要と判断された患者に対し、多職種（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士など）がそれぞれの専門性を活かして適切な栄養支援を行うチームです。

昭和大学江東豊洲病院 NST は 2014 年 8 月に発足し、院内の栄養サポートと、栄養教育を中心に活動を行っています。現在、日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働認定施設（2017 年 4 月～）、同学会認定教育施設（2018 年 4 月～）を取得し NST 専門療法士受験資格のための単位修得が可能となりました。NST は、実務者委員として各診療科医師、各病棟看護師が登録、NST 専門医・NST 専門療法士が在籍し、その内各コメディカル部門の担当者が週 1 回の回診を行います。

（※コメディカル…医師、看護師以外の医療従事者の総称）

栄養回診は、全入院患者の中からアルブミン 3.0g/dl 以下、若しくは医師・各病棟担当看護師・コメディカルが栄養介入の必要ありと判断した患者を対象とします。NST 回診担当者が専門職の立場から栄養アセスメント（評価）を行い、適切な栄養投与法・必要栄養量を主治医・担当看護師に提案・評価を繰り返し行います。

NST 発足 1 年後に昭和大学江東豊洲病院全職員を対象に「NST に対する認識度調査」を行い 7 割の職員に NST の目的・効果は理解されていました。病棟スタッフとの連携強化など課題はありますが地道に活動を続けた結果 2018 年 2 月末には延べ 740 件の NST 介入を行うに至りました。

栄養教育では全職員を対象に月 1 回第 4 金曜日の午後 6 時から「NST 勉強会」を開催し、当院の医師に専門分野の栄養療法について講演いただき、院内の栄養に対するレベルアップを図っています。

NST の目的は

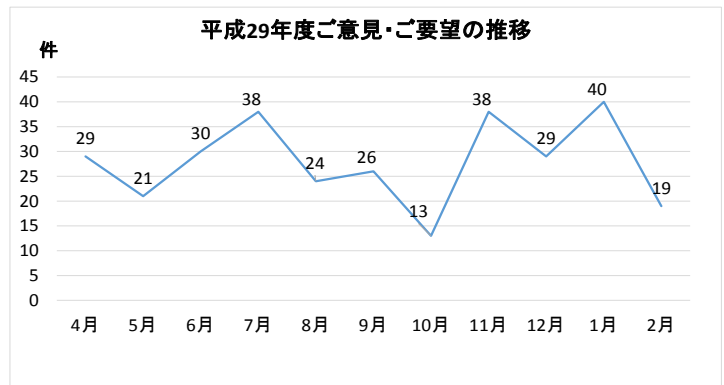
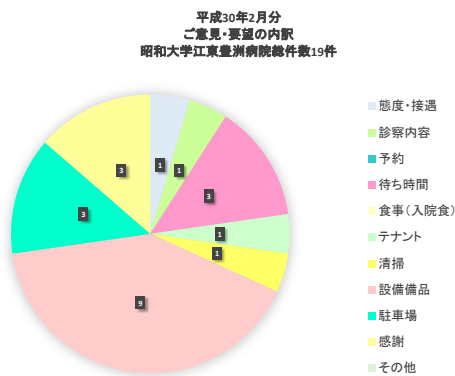
- ①感染症、褥瘡などの合併症予防および改善
- ②患者の ADL（日常生活動作）や QOL（生活の質）の向上
- ③早期離床、早期退院④病院収入の増加にあります。「入院患者の 3 割は低栄養」と言われます。

是非「低栄養患者の早期発見、NST の早期介入」にご協力ください。



◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>エレベーター付近に消毒液を設置しているが、利用している人が少ないので、各病室入口に設置してほしい。</p>	<p>エレベーター付近の自動手指消毒器については、より多くのお見舞いの方に利用を促すため、「手指消毒のお願い」のポスターをフロア入口に掲示します。</p> <p>また、当院では各病室に手洗い場を設置しています。病室入口に消毒剤を置く運用はしていませんので、手洗い場をご利用ください。エレベーター付近にある自動手指消毒器は、入院患者さんでもご利用できます。ご理解とご協力のほどお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：クオリティマネジメント課</p>
感謝	回答
<p>3日間お世話になりました。親切に面倒をみていただいてとても感謝しています。腎臓と膀胱の石の除去でまたお世話になると思います。よろしく申し上げます。</p>	<p>スタッフの対応についてお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。日々慌ただしく働いているスタッフにとっては、そのような言葉をいただくことが本当の励みになります。</p> <p>今後も専門職としての自覚をもち、患者様に安心していただける看護を提供していきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：看護部</p>



編集後記 臨床病理検査室 沖山 清香

4月になり桜の花も見ごろを迎える頃でしょうか。待ち遠しかった春の暖かさも実感できるようになってほっと気も緩む時期となりましたが『三寒四温』、『花冷え』という言葉もございます。急な気温の変化に体調を崩されませんようご注意ください。また、花見や歓迎会など宴会の続く時期でもあります。楽しい時間はつい羽目を外しがちですが、暴飲暴食にはくれぐれもお気をつけください。

年度も新しくなり、人事異動や新入職員、学生も増える時期となりました。顔ぶれも新たに職員一同フレッシュな気持ちで日々皆様と向き合って参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。